

第 2 部

Der eingebildete Kranke

- ☐ Herr Doktor, ich bin nicht gesund.
- ☐ So? Wo fehlt's denn?
- ☐ Das weiß ich auch nicht.
- ☐ Sie wissen es nicht ... aber Sie sind krank?
- ☐ Krank? Glauben Sie, ich bin krank?
- ☐ Ich frage Sie! Ich weiß das nicht.
- ☐ Aber — Sie sind doch der Arzt!
- ☐ Haben Sie denn Schmerzen?
- ☐ Bis jetzt nicht. Aber vielleicht kommt das noch.
- ☐ Unsinn! Essen Sie normal?
- ☐ Wenig, Herr Doktor, sehr wenig.
- ☐ Das heißt, Sie haben keinen Appetit?
- ☐ Oh doch! Ich esse zwar wenig, aber das dann mit viel Appetit.
- ☐ Aha! Trinken Sie auch sehr wenig?
- ☐ Nein, Herr Doktor, ich trinke sehr viel. Bier, Limonade, und vor allem Wasser.
Ich habe immer einen furchtbaren Durst.
- ☐ Interessant. Woher kommt wohl dieser Durst?
- ☐ Na ja, ich schwitze sehr viel.
- ☐ So? Und warum schwitzen Sie so viel?
- ☐ Ich ... wissen Sie ... ich laufe ständig zum Arzt ...
- ☐ Ich verstehe. — Wo sind Sie versichert?
- ☐ Versichert? Ich ... ich bin nicht versichert.
- ☐ Aha! Gut. Ich schicke Ihnen dann die Rechnung.
- ☐ Die Rechnung, ach so ... Sehen Sie, Herr Doktor, jetzt schwitze ich schon wieder ...

第2部

自分を病気だと思い込んでいる男

- 先生、私は健康ではないのです。
- そうなのですか？どこが悪いのですか？
- 私もわかりません。
- わからない …… でもあなたは病気だと？
- 病気だと？私が病気だと、先生は思っておられるのですか？
- 私があなたに聞いているんです！私にはわかりませんよ。
- でもーあなた、医者じゃないですか！
- 痛みはあるのですか？
- 今のところありません。でももしかしたら、これから痛くなるかも。
- 馬鹿なことおっしゃらないで！お食事は普通にとれているのですか？
- 少しだけです。先生、私はほんのちょっとならしか食べられないんです。
- つまり、食欲がないということですか？
- いえ、そんなことはないんです！確かに私は少ししか食べないのですが、食べる時、いつも食欲はともあるんです。
- ほう！飲むのもほんの少しだけですか？
- いいえ、先生、飲むのはとてもたくさん飲むんです。ビール、炭酸飲料、特に水をたくさん。私はいつもひどく喉が渇いているのです。
- ほほう。その喉の渇きというのはどこから来るんでしょう？
- そうですねえ、私、とても汗かきなんです。
- そうなんですか？なぜ、あなたはそんなにたくさん汗をかくのでしょうか？
- 私は……、えーっと……、しょっちゅう医者に駆け込んでいるもので……
- わかりました。ー あなたはどこの保険に入っているのですか？
- 保険ですか？私は……、私は保険には入っていないのです。
- そうですか！わかりました。じゃあ、あなたに請求書を送りましょう。
- 請求書、ですか……、先生、ほら、私、汗がまたこんなに……